

印刷編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町長橋町廿五番地 發行所常磐毎日新聞社

# 常磐新聞

定額 一月五圓 三月十五圓 半年三十圓 一年六十圓 郵税五厘 廣告 第一行五字一圓 第二行四角 第三行三角 第四行二角 第五行一角 印刷所 常磐毎日新聞社

刊夕日四十二月七

### 常磐論壇

#### 解放さるゝ兒童

夏期休暇の意義 一訓導投

學校の夏休みは正式の教授教育をうける生活から移つて、最も自然的な家庭生活に入る一年中の最も注意すべき大切な時です。一體學校生活といふものは教育の方面から言ふと正式な教育の施せる場所ですが、兒童生活を本位とすれば必ずしも正式の生活とは云へません。子供は寧ろ家庭生活においてふだんにおいても學校生活の缺陷を補はされてゐるものです。いよゝ

夏休みになり、毎日學校に來ないとなり、主客顛倒して家庭生活が子供の生活の主な部分になり、いはゆる正式の教育といふものは處々に偶然に現はれる位のものとなり得ます。そこで夏休みの中に學校の課業をやらせるのは偶然に處々に現はれて來るやうな物を一層必然的にし、常習的にしようとするもので、學校の立場から言へば、學校教育の擴張です。學校教育を萬能のものとする場合には、この擴張が非常に意味のあるものでありますが、子供の生活に立かへつて考へると、今日の學校生活といふ

ものが必ずしも子供の本性をのみ考慮して完全に出來上つてゐるものではありません。更に國民義務教育はいはゆる正式の教育と稱する程度までの學力を一定の年齢までにつけなければならぬのですが、子供を中心として考へた場合子供にとつては非常な負擔で、いやでも應でも學校生活に順應しなければならぬのです (續)

代價拾錢 藤田家傳

許正明丹 藤田榮助

平町町電話三三六番

粹上物品履 御求めの際 是非 三井物店

平町町電話二二二番

### 常磐文藝

#### 或る初夏の夕

明 愛

池端の小草に光りし螢一匹飛び立ちゆきぬ築山のかけ

螢とび夜はえも涼し橋の上二人かがり團扇さやめく

庭先の淡き光りにばらの花風少し吹けり搖てゐしかな

ぼつたりと音り落ちにし庭先に梅の實熟せり梅雨晴れ上り

おばさんが弦琴弾けり夏の夜は涼しかりけり團扇にも似て

弦琴の音ゆるかに流れその中に雅びたる音にかねのひびける

雅びたるかねの音ひびく弦琴を庭にてひけるかなしくもある

扇面の繪の暑苦し蜻蛉飛ぶ螢の團扇たびし君かな

うしをとらへて うたつをみれば 午に未のつのがつく

牛豚肉販賣 三三三三屋

平町町大通 電話三三三番

美味と經濟の 西洋御料理

「御入浴も御隨意ですから御散歩の折に是非御立寄を願ひます」

牛豚 氷石川亭

平町町電話四十三番

召し上れ 安くてもいい

マツモトヤのビスケット

百刃特價金二十錢

平町鎮田町

外科内科 産婦人科 花柳病科

金成醫院

金成忠義 電話三五八番

買イ好イ店 良似ヲ安ク賣ル

クースーリ

關内藥舖 藥劑師關内栄助 電話四〇番

化粧用品 驗石ニクカ 錢十個壹

平町四丁目 ツルヤ 電話百四十

逸獨 高級眼鏡

答掛け心地が良くて眼や脳へは絶對弊害がなく晴々するからです

常盤屋 時計店 平町一丁目 電話三三九番

社會藥製治明

店代理 ヤトモツマ

### 五十營業報告

#### 貸借對照表

諸貸出金	五、七、八、七、七〇	荷付替手形	八〇〇、〇〇〇
他店へ貸並	一〇五、九、五、〇〇	有價證券	五、八、五、〇、七〇
二預け金	一〇五、九、五、〇〇	營業用土地	六、三、五、〇、五〇
建物件器	六、三、五、〇、五〇	所有不動産	九、八、〇、九〇
雜勘定	三、九、五、〇、〇〇	現金有高	二、五、二、八、二、八
合計	六、一、二、七、八、三、八	負債之部	
資本金	七、五〇〇、〇〇〇	諸積立金	四、三、〇〇〇、〇〇〇
預り金	三、五、四、〇、〇〇〇	給付補償備金	一、九、三、〇〇〇
日本勸業銀行	四、九、一、〇〇〇	本與業銀行勘定	四、九、一、〇〇〇
他店ヨリ借	七、八、〇、〇〇〇	並ニ借入金	五〇、〇〇〇、〇〇〇
並再割引手形	五〇、〇〇〇、〇〇〇	未拂利息並	一、九、八、〇、〇〇
未拂配當金	一、九、八、〇、〇〇	未經過割引料	五、〇〇〇、〇〇〇
未拂利息並	五、〇〇〇、〇〇〇	當期純益金	一〇、〇、九、七、〇
當期純益金	一〇、〇、九、七、〇	合計	六、一、二、七、八、三、八

#### 利益金處分

當期純益金 一〇、〇、九、七、〇  
之ヲ處分スルコト左ノ如シ  
特別積立金 二〇、〇〇〇、〇〇〇  
行員退職給與積立金 三〇、〇〇〇、〇〇〇  
役員賞與金 三〇、〇〇〇、〇〇〇  
配當金 年九分三厘、五、〇〇〇、〇〇〇  
後期繰越金 四、二、九、七、〇  
右之通りニ候也

大正十四年七月十九日

### 株式磐城銀行

專務取締役 白井一郎  
取締役 白井博之  
同 木田織江  
同 安島重三郎  
同 山崎與三郎  
同 諸橋久太郎  
同 草野順平  
同 高岡唯一郎  
同 小野晋平

### 本紙五百號記念の催し

—自轉車遠乗會—  
(日時)八月九日(集合)午前六時半迄に尼子橋上へ(目的地)四倉海岸海氣館(余興)福引其他の催しあり(會費)一圓二十錢、ビール付晝食(申込締切)八月六日迄

### ハイ取競争

本紙五百號當日(八月三日)より三日間に捕獲せる蠅を六日役場に持ち集り審査の上一升以上の最高捕獲者に賞金五圓、各區を比較し最高の捕獲に達せる區の衛生費に賞金十圓を贈呈。此催しには平警察署、平町役場、平衛生會後援す

### 十字語判斷

五百號當日の紙上に最も興味ある問題を發表し正解者廿名に對して賞品を呈す

### 大瀧問題の...

#### 犠牲者を中心

#### 昨夕大和家の會合

大瀧發電所の反對運動白熱化した際、奇禍を蒙り同問題の犠牲者として投獄された  
花澤久一郎、鈴木長三郎、馬目武之助、多田井次郎、佐藤長藏、の五氏が出獄せるは昨年の昨日である爲め大森勇、阿部政右門の兩氏が發起となり當時同事件に關連して證人其他に召喚された人々七十數名が昨日午後六時より大和家に會合し大森氏の開會の辭に次ぎ花澤氏の謝辭あり宴に移り席上大瀧問題の經過其他に關し各々胸襟を開いて談話を交はし非常な盛況を呈した

#### 僅か一二年

#### 早く社會に出ても

小兒弄火防止に關する件、消防新聞料金徴集の件、水泳場監視の件、護岸竹林警械に關する件、文部省では學校生活期間短縮の趣旨から大正八年より實施の尋小學校五年より中學校に入學し得る制度は文政審議會に謀り十五年より廢止し舊制度に復するやうになつたが右に就て平町警城中學校長滑川一郎氏は

#### 好問消防協議

石城郡消防組にては廿一日午後一時から村役場に消防幹部

### 丹後澤に魚群浮く

#### 米が悪いの

#### 聲に驚いて

#### 米穀組合が

#### 自發的改善

石城郡地方小賣米の品質劣悪な事と不正米商が續出する事は再三報道の如くこれに對しては平穀物検査所でも細心の注意と取締につとめて來たため

#### 最近改善

の跡を認めるに至つたがまだ改善實行を要すべき點が多々あり一般消費者の米商人に對するいはゆる輿論も騒がしくなつた結果過般平署の度量衡特別執行などが行はれたに鑑み平町の米商數商

平町 國王女  
—へ調園生—  
平町には現在百四十三名と云ふ多數の藝妓を有しなが

すが、それだけ今度奮闘度に改められても大した關係はないでせう實際五年生からの入學者は二年級頃までは成績もよいがあとはダメと聞いて居り

### 坑内で殺鼠劑自殺

#### 激烈な梅毒を苦しめて

石城郡磐崎村大字湯長谷字力石小野田炭礦坑夫新瀧縣生れ井上關三郎(三)激烈な梅毒を患へ去る十九日自殺を圖つて錆びた刺身庖丁を研ぎ始めた隣家の女房に止められ翌日猫イラズを携帶して坑内に這入りそれを嚙下して苦悶し始めた爲の大騒ぎとなり同炭礦病院に擔ぎ込んだが生命危篤である

### 低能な少女

#### 平町へ送り返へされた

茨城縣土浦町中城白瀧魚店へ數日前女中に住込んだ少女がある働きの嫌で死ぬの生きたると狂態を演ずるので二十三日土浦署に保護を求め同署で取調たところ福島縣石城郡宮澤炭礦坑夫唐澤新次郎の娘コト(二)とて都の風に憧れ上京したが低能なので使つて呉れる者なく十九日財布に残つて居た金全部をはたいて土浦までの切符を買ひ水戸まで乗越したのを車掌に發見さ

### 黄金の雨

#### 農家の喜び

石城郡内水田は最近の旱天續きのため漸く水不足を來たし水田に龜裂を生じて來たので各所に水喧嘩まで勃發するが如き形勢となり頗る不慮の状態であつた昨日來の雨に水田も少からず出來たので農民一同大喜びであるがこれについて郡野村



ナスソース

ナスのヘタを取り、薄く皮をむき、極く少量に食鹽を加へて柔かく煮ます。それをスリ鉢で磨つてグズク

見る一種特異の傾向としてさまで當今の世智辛い浮世の風に支配されず一般うれ行良好にしてこの界限の景氣は他方面に比し著しき相違あるものゝ如くそれかあらぬが

#### 舊盆前

だるみ時を所謂不景氣知らずの平町さして入り込む藝妓少からず勿論先年炭礦の好況時代に比較は出來ぬが新田町の女王國は依然その豊に於てさしたる變りはなさそうである處が

#### 玉の出

ごこはどんなことになつて居るか試みに調べて見ると矢張地元の磐城生れが一番で三十二名、

ます体力の關係でせう僅か一年早く社會に出たからと格別大した差はありませぬからと制度改正の殆ど益なきものゝ如く口吻をもらしてゐた

れ厳しく問訊されたので土浦へ降りるのを忘れたと辯明し土浦へ送還されたものと判明途中誘拐される恐れがあるのを同署で平までの切符を與へ出發させた

### 面ヨウな葉書の擴がる率の計算

十回目は、四千萬、お大師様のお託宣にかこつた面妖なハガキが僅々廿日間には縁もゆかりもない方面から平町に二回も無込んだ旨既報の如くで一般は之を一笑に附し去り殆ど無關心の態度に出てるので無名の發信者が最初豫期した程の割合を以て各方面に擴がると云ふようなことは無いが假に之をその都度七倍宛に殖つてゆくものとして計算すると最初の一回が二回目七、三回目四十九、

### 募集

文藝其他投稿を募集します  
四回目三百四十三、五回目二千四百、六回目一萬六千八百七、七回目一萬七千六百四十九、八回目八十二萬三千五百四十三、九回目五百七十六萬四千八百一十、十回目は實に四千三百五十三千六百七と云ふ豪い數になつて星製藥王の所謂幾何級數的能率増進千飛んで廿四處の騒ぎではない

### 具合で

どうしても隣縣が多く一二名の處では山形、長野、北海道が各二名、岩手、秋田、山形、青森、群馬、埼玉、福井、静岡、岡山、千葉の各一人など中で往々所謂港の歌に涙ぐむ四十名に近く漂泊の旅藝妓も無いでもないが二十歳前後が最も多い様である

### 高久劍道稽古

石城郡高久村青年團員其他有志は同村小學校訓導劍道二段山部隆雄氏を師範とし廿二日より劍道土用稽古を始め

### 平町人事

- 出生  
△新屋町二四馬目安一氏長男一
- 婚姻  
△那須村大字流尻 玉橋清次郎 (二) 振舞小路 玉橋マサ子 (一)
- 死亡  
△立町八〇 武田トク (一一)